

満開の桜見物客で

大にぎわい!

サクラの千鳥ヶ淵緑道から NHK 放送博物館をめぐる



3月29日(金)は、初夏を思わせる陽光うららかな日に恵まれた。今回の『史跡クラブ』は東京のと真ん中、“歴史の江戸城(皇居)”西側の千鳥ヶ淵と英国大使館に挟まれるように位置する千鳥ヶ淵緑道のサクラ並木。港区内の愛宕山に開館した“放送のふるさと”NHK 放送博物館をめぐる。花粉症の方々にはツライ季節だが、愉快地楽しく有意義な

9時45分、大宮駅の東京寄り中央改札口付近に、「史跡クラブ」メンバー6人集合した。私たちはJR京東北・大宮駅↓神田駅↓地鉄銀座線・三越前駅↓地下鉄半蔵門線・半蔵門駅に降り立った。

皇居千鳥ヶ淵

歴史の江戸城(皇居)と放送のふるさと

ホームから改札口を抜けて地上出口にたどり着く間、男女の乗降客のなかに交じって外国人が数多く見られた。千鳥ヶ淵公園には、ソメイヨシノやヤマザクラなど約170本の桜が植樹されている。千鳥ヶ淵緑道の桜がライトアップされる千代田区さくらまつり開催期間「3月27日(水)〜4月7日(日)中」ということもあり、サクラ樹木の周りには写真を撮る客やお堀にボートを浮かべて満開の桜を楽しむ人々で大混雑していた。

“放送のふるさと”

愛宕山神社に隣接



NHK 放送博物館

クラ見物を後に地下鉄東西線・九段下駅↓地下鉄日比谷線・茅場町駅↓同・神谷町駅で下車した。NHK放送博物館は、1956年に、世界最初の放送専門のミュージアムとして、“放送のふるさと”愛宕山に開館した。日本の放送が始まってから90余年私放送は、昭和・平成を経て令和時代へ

4年(平成26年)から活動を始めて1の世代は戦争があった昭和、大きな平成を共に生きてきた。これからも楽しく・未永く活動していくことを誓いが、経済の発展だけが優先されることな国民生活を築いていける世の中に生まれくる若者たちに、地に足が期待したい。

博物館に入ると、■1階展示フロワー ①ウエルカムゾーン、②放送歴史絵図、③ミュージアムチャンネルなどで構成されている。■2階展示フロワー ①愛宕山8Kスタジオ、②テーマ展示ゾーン、③放送文化賞コーナー、■3階展示フロワー ①ヒストリーゾーンでラジオ放送開始から現在までの通史を一望でき、放送の未来を感じられる展示がされている。■4階展示フロワー ①図書資料時代へ②番組公開ライブラリーとなっている。特に2階フロワーに設置の8K大画面に映し出されるコンサートビデオや大自然の風景映像など、奥行きと迫力に圧倒された。放送博物館の開館時間は、午前9時30分〜午後4時30分

0分。 休館日は月曜日・年末
年始。 入館料は無料。